

『嵐の予感』 寸評

- ・いきなり嵐の真っ只中にたたきこまれたような
- ・4小節ごとに問答無用に切りかわる推進力
- ・m.9-12 $\frac{6}{8}$ への転換 m.12のもりあがり たいへんよろしい
- ・和声進行がよく考えられている
- ・無窮動の性格もタイトルのイメージにふさわしい

完成度をさらに上げるために

- ・m.4 b.1第3音がないのが気になる←チェロでおぎなう
- ・m.9-11 1つ目のアクセントは1拍目に置いて $\frac{6}{8}$ を強調したらどうだろう
- ・m.2 b.3-m.3 b.1 Vn.とチェロで完全8度平行



- ・m.11構成音とメロディーの動きからDにうけとれる
- ・m.12 b.2 ウラVa.はC#にして旋律短音階を実現
- ・m.14 b.3 Vn.のG#はどうしてもG#につづきたいが
それではB₇とあわないのでG#に修正



- ・m.13-14どちらもVa.をうごかさず第3音を充当
↑Vn.とチェロのうごきにより注目が向く
- ・m.15 b.3 Va.をラにするとm.16のソまでスムーズ
- ・タイトル「予感」ではないようないきなりそこにいるかんじ

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持庵 勉